

ご挨拶

残暑厳しき折皆様には如何お過ごしでしょうか。当初の目的達成の目安を5年先に置きました。いまだ道半ばですが、6月で丸5年が過ぎました。

ここまで辿(たど)り着けたのは、正会員、賛助会員、又私たちの活動に賛同し協力して下さる方々のご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願い致します。

6年目に入るに際し、過去5年間の活動を総括すると共に、新たな取り組みについてご案内します。



マスコット「バロくん」



プレゼン報告風景

当法人は、会員の皆様のご寄附と行政や民間の助成(補助助成)をもって活動してきました。当法人は、子育て支援事業、特に無料の『子育て心理相談』を柱にしている関係上、固定収入は殆んどありません。

新規事業を行う際には、否応も無く助成公募に頼らざるを得ませんでした。しかし、公募ですから採択される保証はありません。5年間で7件採択されたことは、奇跡に近いと言えます。

因みに補助助成とは、事業の4/5を助成するのであり、1/5は自己負担です。また、助成事業は単年度決算であり、必ず「報告」が義務付けられます。以下、採択された内容をご報告します。

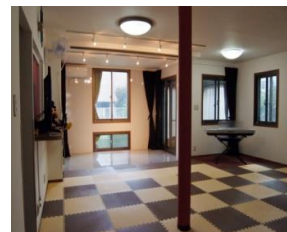
『採択された助成事業(補助助成事業)一覧』

平成24年度

① 財団法人こども未来財団『子育て支援拠点環境改善助成事業』

(子育て拠点を設置するための環境整備)

当法人では、開設にあたり「財団法人こども未来財団」のご支援を頂きました。



平成26年度

① 埼玉県シラコバト基金『豊かな地域福祉づくり推進事業』

(虐待防止の絵本ライブ&一日こころの相談室)

現理事の森野さかな(絵本作家)との出会いが、本事業に繋がりました。虐待防止の絵本ライブを地道に続ける「森野さかな」と子育て心理相談を事業の柱とする当法人がコラボレーションして実現しました。



② 生命保険協会『子育て家庭支援団体に対する活動助成』

(子育てに悩む母親の子育てプランニングノート)

『ら苦から楽へ』が当法人のキャッチフレーズです。子育て(未就学児)に悩む母親が、少しでも楽になれるようにと制作したのが『子どもと歩む母親未来ノート』です。ともすればネガティブになりがちな自身をポジティブにもって行くためのツール(道具)です。無理をし過ぎないのも子育ての秘訣です。ノート制作にあたり「生命保険協会」の補助助成を受けました。



子どもと歩む母親未来ノート

③ さいたま市岩槻区『市民活動ネットワーク街づくり推進事業』（三世代交流懇話会・きぼう）

岩槻区在住（岩槻区関係者）の方々を対象に、分野や経歴は問わず自由にお話をさせていただきます。

実技もありました。「女性のための護身術」「包丁の砥ぎ方」「コーヒーの上手な淹（い）れ方」「川柳教室」などです。三世代交流懇話会は、岩槻区から補助助成（平成26年～平成28年）を受けました。本年度からは、当法人単独事業として活動します。



平成27年度

① 国際キワニスクラブ日本財団『国内公益目的事業への助成』

（「虐待防止の絵本ライブ&1日こころの相談室」）

国際キワニスクラブ日本財団（埼玉支部推薦）の助成により、県内各地で『絵本ライブ&1日相談室』が開催できました。



平成28年度

① 埼玉県シラコバト基金『豊かな地域福祉づくり推進事業』

（放課後児童支援員をサポートする相談システムの確立と 事前調査及び心理相談モデル事業）

一昨年に受けており、連続の採択は困難と思われましたが運よく採択されました。

放課後児童クラブの児童支援員に対する『ストレスチェック及び心の相談』です。結果の概略は、『2017 シラコバト基金による過去の助成事業審査結果一埼玉県（事業実績報告書 参照）』



相談風景（モデル）

ストレスチェック

5年間の活動報告

① 「小児科医とカウンセラーの連携による子育て支援事業」

小児医療機関との連携で行う無料心理相談です。相談対象は、医師が要観察と診断した幼児や地元幼稚園などから相談依頼されたお子さんです。最近は、幼児の兄弟である小学生や中学生の相談も多くなっています。

当法人では、カウンセリングを通じて、お子さんの成長を見守る。保護者が少しでも楽になれるようにとの思いから「こころの相談室」を開いています。半年～2年の継続相談が多いのも特徴です。



心理相談

② 「絵本ライブ&心理相談事業」

絵本作家(森野さかな)と当法人とのコラボレーションです。年齢に関係なく誰でも楽しめます。現在まで14回行いました。今後も継続したい事業ですが、開催する費用が不足しています。残念ですが、回数が減っているのが現状です。

第1回 2012 7/13 カルスタすぎと



埼玉新聞掲載

③ 「研修及び講演事業」

公的機関や各種団体からの依頼による講演や研修を行ってきました。最近、さいたま市放課後児童クラブへの後方支援なども行っています。



④ 「三世代交流懇話会(きぼう)」

三世代交流懇話会(きぼう)は、毎月第4水曜日の18時30分から区の多目的室で開催しました。講話の後で、講師との楽しいやりとりが毎回繰り広げられます。三世代交流懇話会は、年齢に関係なく誰もが参加できます。3年間で24回開催しました。



⑤ 「放課後児童クラブ支援員へのストレスチェック及び心理相談事業」

さいたま市内 81 箇所の民間放課後児童クラブの児童支援員 286 名を対象に「ストレスチェック」を行いました。また、その結果をもとに児童支援員に対する「心の相談」を実施しました。

⑥ 「その他の事業」

当法人は、地域とのより良い関係を保つために「地域コミュニティ連絡協議会」「岩槻区やまぶきまつり」「市民フェスティバル」などへ参加協力しました。



新規事業

平成29年度

① 『平成29年度 さいたま市子どもの居場所づくり事業(多世代交流会食)』

さいたま市の子ども居場所づくり事業として本年4月から開始された『多世代交流会食』に当法人が採択されました。「三世代交流懇話会」の開催もこれを機に「カフェ・親子ふれあい」で行います。

◎私たちの活動をヨークマート本社が理解してくださり、徒歩5分にあるスーパーの駐車場を客の邪魔にならないことを条件に貸してくださいました。

② 埼玉県共助社会支援事業『共助社会支援事業助成』

(放課後児童クラブを利用する保護者と児童支援員の為の「子ども支援ノート」と「保護者用ストレス自己診断票」の作成。

- ・放課後児童クラブにあって、経験の浅い児童支援員が、円滑に子どもを支援する為のツールとして「子ども支援こころノート」を制作します。

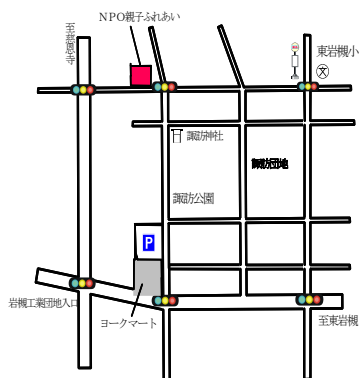
- ・子育て中の母親向けの『簡易ストレスチェック』診断票を作成する。子育てに日々悩み辛い思いをしている母親は多い。自身が高ストレスであることを自覚し、周囲に助けを求めめることも大切です。

③ 『コロッケカフェ・親子ふれあい』

- ・母親から要望が多かった「周囲を気にせず幼児子どもと食事や談笑ができる場所（物件）」を岩槻区諏訪（諏訪神社）近くに見つけました。
- ・建物は古く外観はよくありませんが、店内は『ミニギャラリー』です。また、手描きのオリジナルカップやお皿で心のこもった「おもてなし」をします。
- ・私たちは「三世代交流」に力を入れています。子どもから高齢者まで、多数ご利用頂きたく存じます。また、随時「楽しい催し」を企画します。

◎10月上旬オープンの店（30席弱）は、『手作りコロッケ』の軽食カフェです。ワン・コイン500円のランチで、ほっと一息入れませんか。

コロッケカフェ・親子ふれあい
東岩槻北口から徒歩15分。ヨークマートから徒歩5分。
諏訪神社の先の信号左側黒い平屋の隣です。「NPO親子ふれあい」の看板があります。コミュニティバスは、東岩槻小学校前下車徒歩4分です。ただし土日は運休です。



- ・2階は、ネット放送局『ハイタッチさいたま』を併設した登録制の（コ・ワーキングスペース）です。ネット環境やコピー機、作業台もありますが、準備の関係でオープンは少し遅れます。

役員紹介

2017 現在

- 代表理事 藤野信行（元川村学園女子大学教授）
- 副代表理事 小林台受（西町倉庫運輸株式会社社長）
- 理事 阿部健一（星美学園短期大学学長）
- 理事 梅田隆志（梅田税務会計事務所所長）
- 理事 清水英利（元聖徳大学教授）
- 理事 藤田主一（日本体育大学教授・応心理事長）
- 理事 藤野貴子（ケアマネージャー）
- 理事 藤原正光（文教大学名誉教授）
- 理事 峯 真人（小児科医・元岩槻区医師会会長）
- 理事 森野さかな（絵本作家）
- 監事 梅田葉子（梅田税務会計事務所）
- 監事 新井友子（元JA埼玉）
- 事務 藤野ヒロ子（陶磁器上絵付技能士）

年会費の振り込み・入会者のご推薦のお願い

会員の皆様には、今年度の年会費をお振り込み頂きたくお願い申し上げます。既に今年度会費をお振込みの方には、振込用紙は入れてありません。また、お友達やお知り合いの方に、入会のお誘いをして頂ければ幸いです。

当法人は、正会員が年間5千円以上、賛助会員が年間3千円です。また、当法人の活動に賛同していただき、ご寄附して頂ける個人や団体を募集させていただきます。ご一報いただければ幸いです。

連絡先：339-0067 さいたま市岩槻区西町 1-6-8

NPO法人親子ふれあい教育研究所 事務局宛

TEL & FAX / 048-756-4657

E-mail / oyako.fureai@ae.auone-net.jp

ホームページ ofkk.or.jp

追伸

当法人の顧問は、前役員の佐藤隆志（成田国際福祉専門学校校長）、持木正隆（厚労省しょうけい館事務局長）、吉田久臣（社会福祉法人せいらん学園園長）、正会員の平野修二（元児童相談所副所長）ですが、加えて村井英樹（衆議院議員）が新たに就任いたします。